

# 光センサが値を読み取ることができない ときには

## ○免責事項

本資料に掲載する情報については、注意を払っていますが、その内容について保証するものではありません。株式会社アフレルは本資料の使用ならびに閲覧によって生じるいかなる損害にも責任を負いかねます。また、本資料の情報は予告無く変更される場合があります。

※各製品名及びサービス名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

作成日：2009/10/15

# 「光センサが値を読み取ることができないときには」

1. プログラムで決めた入力ポートと、実際に光センサがつながっている入力ポートが合っているかを確認しましょう。
2. 入力ポートやケーブルの端子が錆(さび)ているかもしれません。何回かケーブルをはめたり外したりしてみましょう。
3. ケーブルが断線しているかもしれません。別のケーブルと交換してみましょう。
4. 光センサの赤いランプがついていないときは、光センサを使う準備ができていません(アクティブになっていません)。光センサを使うプログラムをつかってRCXに転送し、Runボタンを押して一度実行してから光センサを使ってみましょう。このとき、入力ポートを良く確認してください。



電源を入れても光センサの赤いランプがついてない



光センサを使うサンプルプログラム



光センサの赤いランプがついている

5. 光センサが使えるようになったかどうかは、Viewボタンを使って確かめます。

RCXに光センサをつなげてViewボタンを押します。

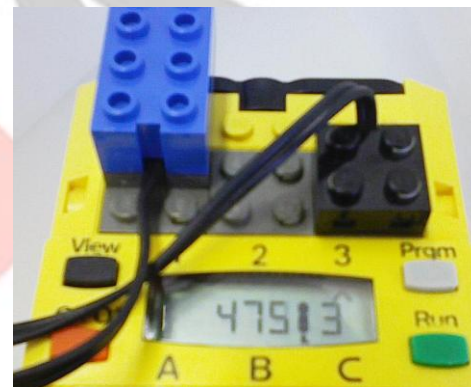
光センサがつながっている入力ポートにマーク「^」を合わせます。

光センサが使える状態になっていると光センサの値は、0から100までの値を表示します。

使えない状態では、0から1024の値を表示します。



光センサが使えるようになった入力ポート2で、Viewを使ってみる(値は0から100の間の値)



光センサが使えるようになっていない入力ポート3で、Viewを使ってみる(値は0から1024の間の値)